

みらい発信局おむすび

静原応援隊

静原応援隊は左京区静原地域を元気にしたい!と活動する団体です。イベント参加者募集中です。その他詳しい情報は SNS (裏面記載) まで!

☎ 075-705-1570

✉ kyousandai@maruzen.co.jp

01 育てる

田植え

静原では豊作を願う春の祭礼を終えると、一斉に田植えが始まります。しめ縄を作るためのもち米もこの時期に田植えをします。

苗箱20枚分の「新神楽餅」の苗を、昔ながらの方法で手植えしていきます。



5月中旬



しめ縄もち米の田

稲刈り

豊かなもち米が実り、黄金色に輝く稲穂を鎌で収穫します。

その場ですぐに脱穀して青い藁を取ります。

日陰で大切に乾燥をさせて、藁すぐりをします。



9月中旬



しめ縄もち米の田

03 楽しむ

おもちつき交流会

自分たちで育てたもち米で昔ながらのお餅つきをします! あったか〜い「豚汁」や「おぜんざい」のふるまいもあります。つきたてのお餅と地域の人との交流を楽しんで下さい。

静原の貴重な話が聞けることも!



12月中旬



旧静原 JA

02 学ぶ

わら細工教室

収穫した藁を使ってリース作りをします。

クリスマスやお正月の飾りを付けて楽しめるので、親子連れの参加也大歓迎!

地域の人たちに教えてもらいながら藁の文化を楽しみながら学びましょう!



12月初旬



旧静原 JA

静原神社しめ縄作り見学ツアー

お正月を迎える前に静原神社で行われるしめ縄作りを間近で見学することができます。

自分で育てて下処理(すぐり)をした藁でできたしめ縄が御神木に飾られると、とっても有難い気持ちになります。貴重な体験なのでぜひ!



12月末



静原神社



静原神社の御神木にかかるしめ縄は、地域で栽培された藁を使用するのが静原の伝統です。年の瀬に地域みんなで作った新しいしめ縄を御神木に掛けて新年を迎える準備をする。

そんな古くからの文化をずっと守っていくため、私たちはしめ縄のためのもち米を栽培しています。

つなぐ・ささえる 静原伝統しめ縄もち米プロジェクト

▲静原応援隊とは

静原応援隊は、京都産業大学の学生を中心とした有志メンバーで、静原地域を元気にするため活動しています。「地域と同じ目線にたった地域活性化」を目指し、地域の休耕地を利用した農業を行っています。

また、そこで採れた野菜を販売しながら、地域行事への参加・小学校ボランティア・災害復旧・地域環境整備にも取り組んでいます。

▲静原しめ縄もち米とは

静原にある静原神社の御神木にかかるしめ縄は、地域の田んぼで作ったもち米の藁を使うというのが、昔からの習わしです。春に田植えを終えたもち米は、地域の人たちに見守られ、実りの秋を迎えます。

そして、収穫した稲の藁は神社のしめ縄に、もち米は静原神社 春の祭礼のお供えに使われます。

▲伝統存続の危機

今までは「しめ縄のためのもち米栽培」は地域の方が担って下さっていました。

しかし、地域の高齢化が進み、もち米栽培を続けることが困難になりました。その後ももち米栽培の後継者は見つからず、静原神社のしめ縄を地域外で採れた藁で作ることが検討されていました。

▲つなぐ・ささえる

静原応援隊は伝統を存続させるために、2019年よりもち米作りに取り込むことに決めました。

もち米作りにおける重労働の部分を若い力が担うことで、地域の高齢者の負担を減らせます。

そうすれば、地域内でのもち米作りの存続が可能になると考えたからです。

▲強みをもちより課題解決

一度途切れたら、取り戻すことが困難なのが伝統文化です。

地域の伝統を守るために、地域の強みと学生の強みを持ち寄り、力を合わせて課題解決に取り組んでいます。



イベント参加ご希望の方は静原応援隊事務局、または各SNSよりご連絡下さい。

車をご利用の方は駐車場所をご用意いたしますのでお申し込み時にお伝えください。

イベント場所の変更・中止等はFacebookでお知らせいたします。

Twitter @shizuharaoen Instagram@omusubi_musubi Facebook @sizuhara.omusubitai